

平成20年度 看護系学会等社会保険連合研究助成 研究報告要旨

【目的】

研修を受けた看護師による、CT・MRI検査のプレパレーションを実施することで、入眠処置等の医療的介入による子どもへの苦痛を与えることなく、子どもが検査を円滑に受けられることを明らかにする。

本研究におけるプレパレーションとは、CT・MRI検査に対して、検査室の装飾や映像などを用いて子どもの気を紛らわす工夫とともに、看護師が子どもの発達段階に合わせてCT・MRIの模型やパンフレット等の教材を用いて説明し、子どもの理解を促し、検査前から検査後に至る過程において、その子どもなりに納得して主体的に検査に取り組めるための技術であり、大人のインフォームド・コンセントに匹敵するものである。

【研究方法】

I. プレパレーションの効果に対するエビデンスを明確にするため2005年以降の国内外の文献検討を行う。

II. プレパレーションに関する実態把握のため調査を行う。

調査は、①日本看護協会の都道府県支部に対するプレパレーションの研修状況調査、②小児専門病院に対するCT・MRI検査の実施状況調査、③研究の同意が得られた病院に対する3～12歳児へのCT・MRI検査のプレパレーションを実践した効果の分析調査である。

【研究結果および考察】

I. 文献検討

2005年以降の文献を検索し、プレパレーションの効果について検討した。検査室の環境調整をすることで、子どもが睡眠剤を使用せずに検査を受けられたこと、模型等を使用しながら説明をすることで、子どもが動かずに検査を受けられたことの報告があった。海外文献では、プレパレーション実施群、非実施群を比較し、実施群で心拍数減少、ペインスケールの低さが報告されている。しかし、プレパレーションが子どもの健全な心の発達を目指すケアであるため、効果の評価の時期や内容をより明確にすることが課題である。

II. プレパレーションに関する実態把握のため調査

①プレパレーション研修状況調査について：日本看護協会の都道府県支部を対象に、2007～2008年のプレパレーション研修状況を調査した。35の日本看護協会支部からの回答があった(回答率74.5%)。平成19・20年度にプレパレーションの研修を開催したのは7支部(20.0%)で日数は1日であった。継続的に開催していたのは3支部であった。

② プレパレーション実施状況調査

小児専門施設協議会に所属する施設を対象にCT・MRI検査のプレパレーション実施状況を調査した。10施設からの回答があった(回答率34.5%)。CT・MRI検査を受けた2～6歳の子どもは18,185人、そのうち入眠処置をしたのは11,715人(64.5%)、2回以上の入眠処置は4,686人(24.1%)であった。検査室の装飾等の環境調整は全施設が実施していた。プレパレーションの実施状況は、「必ず実施」しているのは1施設(10.0%)、「だいたい実施」は8施設(80.0%)であった。その方法では、31.6%が「検査室を見学し実物を見せる」「口頭で伝える」、15.8%が「人形や玩具、模型を用いる」等であった。また、10施設に勤務する看護師に、3～6歳の子どもがCT・MRI検査を受けた状況について最近関わった事例を最高5例迄を挙げてもらい検討した。子どもの年齢は3歳児15人、4歳児10人、5歳児10人、6歳3人、不明1人の39名であった。検査時にプレパレーションを実施しなかったのは1名であった。プレパレーションは「口頭で」が34.7%、「検査室を見学し実物を見せる」20.8%であった。子どもは、「やる気になっていた」が35.9%であったが、その様子が「やる気かどうかわからない」が30.8%、「拒否的な言動や態度」が20.5%であった。しかし、実際にセデーションを実施したのは38.5%であり、59.0%の子どもは鎮静せずに検査を受けることができていた。検査実施中の様子は、「その場で動かずに実施できた」子どもが半数を越え、「母親の協力で実施できた」を含めると約80%だった。検査実施後では、「達成感・安堵感が見られた」「泣かなかった」子どもがそれぞれ約30%であった。

③ 参加観察によるプレパレーション実施状況調査

本研究の実施にあたり、大阪府立大学看護学部研究倫理委員会の審査を受け承認を得た。研究協力が得られた近畿圏・関東圏の小児専門病院小児科および一般病院の小児(科)病棟、外来において、CT・MRI検査を受ける3～6歳の子どもを対象にプレパレーションを実施し、プレパレーションの5段階毎に子ども、保護者、医療者について参加観察を行い、プレパレーション実践例とした。プレパレーションの実施にあたりプレパレーションの実施要項の作成、参加観察のために、検査所要時間や薬剤使用頻度等、子ども・親の反応を観察するためのチェックリストを作成した。また、参加観察データを記録した。プレパレーション実践例は25例であった。

一連の研究結果から、CT・MRI検査のプレパレーションの効果进行分析した。